

第2回 リスナー参加型 天下一学問会

高校レベル

解答解説

世界史

作問者：Unferth

問題数：大問3問

記述式

解答時間：40分

出題意図

基本的に私が「現在」、つまり問題作成時点で重要と考えた問題を作成した。

問2-5周りのギリシア・ローマ周りはやはり西洋政治の元祖として。

特に問4の回答は今から見ても興味深いもので、出題を通してぜひ知ってほしい。

そして昨今のウクライナ戦争やガザ侵攻を見据えての問7、

そして歴史学の本質に触れることのできる問10である。

”歴史の機能は、過去と現在との相互関係を通して両者を更に深く理解させようとする点にある”
とかつてE・H・カーが語ったように、歴史を「わざわざ」物語ることからその人を知ることができ、
数多ある事実からその人が「何を取り上げ、何を取り上げなかったか」という以上にその人がわか
かることもない。

私達は歴史を覗き込んでいるだけでなく、覗き込む姿が歴史という鏡にはっきりと写っているの
である。

問1. フランス革命やピューリタン革命の際に、市民が交流した場所の名前をカタカナで書きなさい。

コーヒーハウス(カフェは部分点)

問2. 紀元前49年にルビコン川を渡り、首都ローマへ進軍した政治家の名前を答えなさい。

カエサル、シーザー、チェーザレ

問3. 第一回三頭政治に参加した資産家であり、紀元前53年にパルティア遠征を行った人物の名前を答えなさい。

クラッスス、マルクス・リキニウス・クラッスス

問4. 下線部(4)の人物が行った政治改革の一つであり、紀元前594年に制定された政治制度を答えなさい。

財産政治、ティモクラティア

問5. 下線部(5)が活躍した東ローマ帝国の皇帝で、527-565年に在位し、東ローマ帝国の最盛期を築いたとされる人物の名前を答えなさい。

ユスティニアヌス1世、ユスティニアヌス大帝

問6. 1859年にチャールズ・ダーウィンが執筆し、進化論を世に広めた本の名前を答えなさい
種の起源、On the Origin of Species by Means of Natural Selection

問7. 1928年にフランスの外相とアメリカ合衆国の國務長官らの提唱によって調印された条約の名前を答えよ。回答は通称でも可。

不戦条約、ケロッグ・フリアン条約、戦争放棄に関する条約

問8 下線部8の際にロシアが参戦していた戦争の名前を答えなさい

第一次世界大戦、WWI

問9 下線部9の際、民衆はそこに武器や弾薬があると考え、ある場所を襲撃した。その場所の名前を答えなさい

バスターイーユ牢獄

問10 下線部10は歴史学者E・H・カーの考える歴史学の重要な特徴である。以上を踏まえ、現代の視点でなにか一つの事柄を取り上げ、考察しなさい。

その際、必ず事実を書き、その後に評価(良い/悪い、好き/嫌い)を書くこと。

出題の通り事実を書き、その後に評価が記載されていれば正答とする。

以下、解答例

明治時代、電車の中にはりんごの皮やバナナの皮がよく落ちていた。

現代の電車では同様のゴミが落ちていることは稀で、転倒事故も減ったと考えられる。

こうして転倒事故が日常生活から遠ざかったことで「バナナの皮ですべる」ことが冗談として成立するようになった。我々が日常で怪我をする可能性が減ったという観点でこのことは良いことだと評価できる。

また以上の事実は下記書籍による。

黒木 夏美『バナナの皮はなぜすべるのか?』水声社 2010年 現在は文庫版あり

ゲーテンベルクの活版印刷(だいたい1450年)以前は本は手で写されていて、その際に文字が抜けたり書き足されたりすることはよくあった。

逆に活版印刷以降、写本に違いがあるということは意図的な場合を除いて起こらなくなった。

これは過去を振り返るさいに重要なことで、当然歴史学に良い影響を与えた。

トマトはアメリカ大陸原産で、元来イタリア料理には使われてこなかった。ここ100年の間にトマトを使ったイタリア料理が定着した。

つまり、日本でスパゲティの定番とされるミートソーススパゲティ、及びその原型のボロネーゼもここ100年の間に定着したものだ。

もしトマトがイタリアに定着しなければいわゆるイタリアが世界に広がることもなかっただろう。

よって、これは良いことだと評価できる。

また以上の事実は下記書籍による。

ファブリツィオ・グラッセリ『ねじ曲げられた「イタリア料理」』光文社 2017年

平安時代の将棋は持駒のルールがなく、チェスと同様に取った駒は使用できなかった。

そのため、平安時代の将棋は現代の将棋に比べるとゲーム性に乏しい部分があったと考えられる。持ち駒のルールが現代で採用されていることは良いことだと評価できる。

また以上の事実は下記書籍による。

増川 宏一『将棋』法政大学出版局 1977年

チョコレートはアメリカ大陸原産で、1500年ごろはまだ非常に貴重で、王宮で人々が食べるぐらいだった。

現代では量販店には大量のチョコレートが並び、1500年のころとは違い、チョコレートが大量生産されていることがわかる。おそらく当時は貴重だった砂糖も現代のチョコレートでは入っていて、菓子として成立する手助けをしている。

以上のようにチョコレートの広がりや歴史は過去に対する現代の良い点で、評価できる。